

地域づくり提案事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 平成19 年度

市町村名	秩父市			
補助事業名	花と文化を生かした観光誘客促進事業			
事業期間	19 年度	～	21 年度	
事業の必要性、目的	<p>本市では、「秩父市第1次総合振興計画」において、「環境重視・経済再生」を将来都市像のキーワードに掲げ、「環境・観光文化都市ちちぶ」を目指し取り組んでいます。当市は文化的な資産と、花や緑などの自然環境を生かした観光振興に力を入れています。全国的に有名になった羊山公園の芝桜や、地域に根ざした数々のまつり、さらには寺社等の観光資産をさらに活用して、観光入込み客を増加させていくためのイベントや誘導策を積極的に実施し、観光客の増加を図り地域の活性化を図りたい。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 入込み観光客数			
	(成果検証の具体的な方法) 観光入込み客数として、県等に報告するほか、統計として公表している数値の算定方法を使用する。			
	(上記の指標を設定した理由) 各種の誘客促進策により、単独の観光スポットだけでなく、相乗効果による入込み観光客の合計が増加すると想定している。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (平成17年分)	3,891千人	目標値 (平成20年分)	4,000千人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)	
住民への公表方法及び特記事項	市のホームページにおいて成果指標を住民に公表します。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成19年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 芝桜まつり開催事業	ソフト (芝桜まつり実行委員会へ委託) 中心市街地で伝統芸能の上演および秩父ミュージックパークでご当地自慢のホルモン焼きとそばの出店の他、「食べられる山野菜教室」を開催し秩父の食をPRするなど、観光客を芝桜の丘から市内全体へと“まちなか回遊”策を図る。	5,000
④ 和銅遺跡周辺整備事業	ハード 平成20年には和銅が朝廷に献上されてから1300年目に当たるため、既存のハイキングコースの整備を中心に説明板等の設置を行い、歴史的遺産を見学できる観光スポットとしてPRし、観光客の増加を図る。	12,000
⑤ 江戸巡礼古道整備事業	ハード 平成20年は秩父札所において「日本百番観音報恩総開帳」が行われる年にあたる。これに合わせて、札所1番から34番までを歩いて巡る「江戸巡礼古道」を復興・整備し、札所巡礼者をはじめ、リピーターの増加を図る。	3,000
⑥ 花街道景観整備事業	ハード 平成20年3月に共用開始予定の皆野秩父バイパスの小柱インターチェンジから秩父市内(小柱～大田～吉田方面)への道路にハナミズキを街路樹として植樹し、花街道として秩父の新しい玄関口周辺を整備する。 上吉田の米山薬師堂では、毎年5月4日に地元の子もたちが米山薬師堂の参道に花をまき、参道の花いっぱいにしきつめる「塚越の花まつり」が行われます。塚越の花まつりと同じ時期の4月から5月にかけて花開くハナミズキを植樹し、沿道を通行人々へ塚越の花まつりへの期待を膨らましていく。	10,000
⑦ 第6回 秩父舞祭り開催事業	ソフト (秩父青年会議所への補助) 秩父地域の文化・伝統を次世代の担い手である青少年に伝えるとともに、中心市街地活性化と観光誘客を目的として、秩父神社周辺地域を歩行者天国する他、3会場のダンスステージにおいて、各チームがそれぞれの踊りを繰り広げるダンスイベントを開催する。 C-DANCE!とは、よく見受けられる「よさこいソーラン祭り」とは違い、よさこいソーラン祭りの踊りのし易さに秩父の伝統芸能である秩父音頭をコラボレーションし老若男女 誰もが取り入れやすくし他には見受けられない差別化を図った。 本年度は、従来よりも早く県内外からの参加を呼びかけ、参加者数(誘客者数)の増加を図る他、開催前に、「C-DANCE!講習会」を開催し芸術文化の質の向上を図る。	2,000
合計		32,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市のホームページやマスコミ等の各種メディアの有効活用により、積極的なPR活動することで入込み観光客の増加を図る。
成果指標の達成見込み	入込み観光客数は年によって波があるが、グリーンツーリズムの人気や皆野秩父バイパスなどの完成などの諸条件が整うことにより、達成は十分可能と思われる。